

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

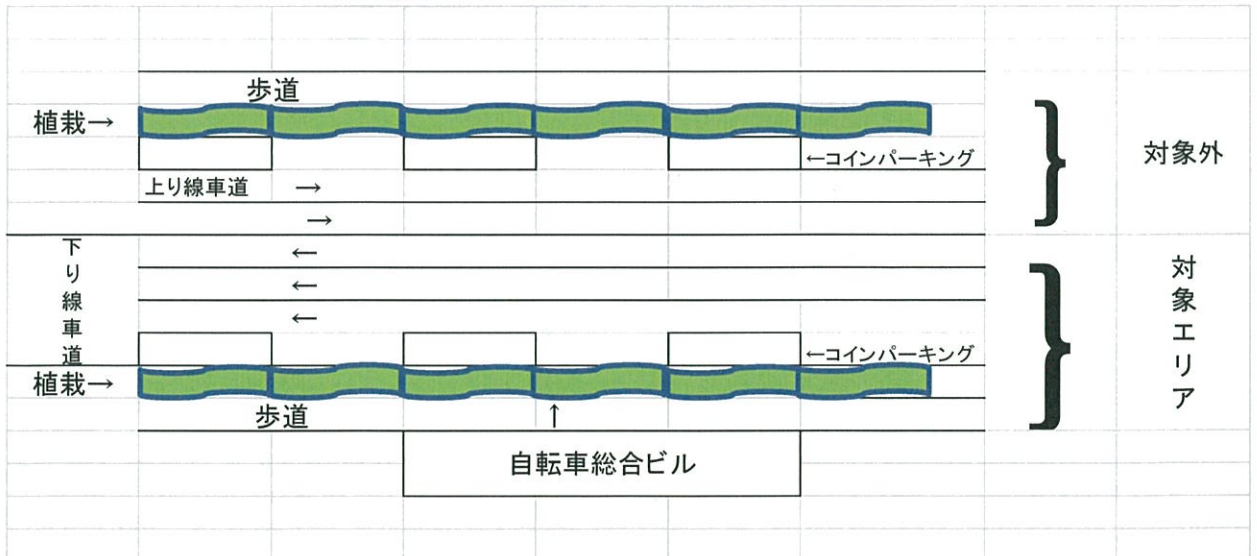
平成29年8月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成29年7月5日～28日  
 [午前]9:00～10:00、[午後] 14:00～15:00

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])  
 (歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

	走行空間				車種		雨天		危険運転行為						
	車道左側	車道右側	歩道中央	歩道	子乗せ	電動	傘	傘取	携帯電話	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドルに荷物	両足踏車	その他
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

調査日時：	平成	年	月	日	( )
天気：	記号				
調査時間：	～				

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、10～26%と多岐にわたるが、平均すると20%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の7割強を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(141件)・ハンドルに荷物(67件)・片手運転(53件/内6件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(53件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(27件)・子乗せ後部席に荷物掛け(\*1)(24件)・立ち漕ぎ・過積載(各16件)・ジグザグ運転(12件)・脇見運転(6件)・等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 29 年度第 4 回目の調査となり、平成 29 年 4～7 月分の 4 カ月期間の様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(19.7%)は、4 カ月間中では中位で、6 月(21.8%)・7 月(19.7%)・4 月(19.6%)・5 月(19.4%)の順である。  
                                  なお、午前 (19.5%)は、4 カ月間中では下位で、6 月(21.4%)・4 月(21.3%)・5 月(19.9%)・7 月(19.5%)の順である。  
                                  また、午後 (20.0%)は、4 カ月間中では中位で、6 月(21.8%)・7 月(20.0%)・5 月(18.8%)・4 月(17.9%)の順である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(23.4%)は、4 カ月間中では中位で、4 月(26.2%)・5 月(25.7%)・7 月(23.4%)・6 月(21.8%)の順である。  
                                  なお、同自転車における同乗者あり(36.4%)の場合でのヘルメット着用率は、71.9%(週平均は、61～78%の範囲で推移)である。  
                                  今回(71.9%)は、4 カ月間中では中位で、6 月(78.0%)・5 月(74.4%)・7 月(71.9%)・4 月(70.5%)の順である。
  
- ・電動自転車                今回(35.9%)は、4 カ月間中では中位で、4 月(41.5%)・5 月(39.8%)・7 月(35.9%)・6 月(34.9%)の順である。
  
- ・危険運転行為              上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順であり、期間中の共通項目は、全項目である。
  
- (違反行為を含む)          一方、下位 3 件別では、[過積載・ジグザグ運転・脇見運転] の順であり、期間中の共通項目は、ジグザグ運転・脇見運転である。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(418 件)の 5 割(208 件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

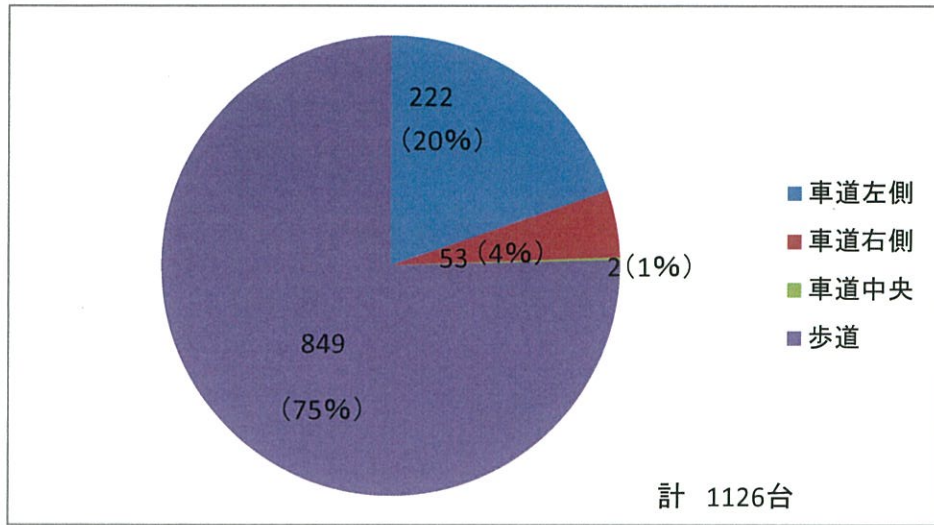
また、利用者全体(1126名)における危険運転行為(違反行為を含み 418 件)の比率は、割合上(\*2)では、34%となっている。

\*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件(32件)も含まれるため

なお、現在、調査地点の近くに臨時のバス停(1年の期限付き)が設置されているため、車道右側走行者は、バス接近時において危険な状況(同様にバス側からも対向車となり危険)となるため、速やかに止めるべき行為である。

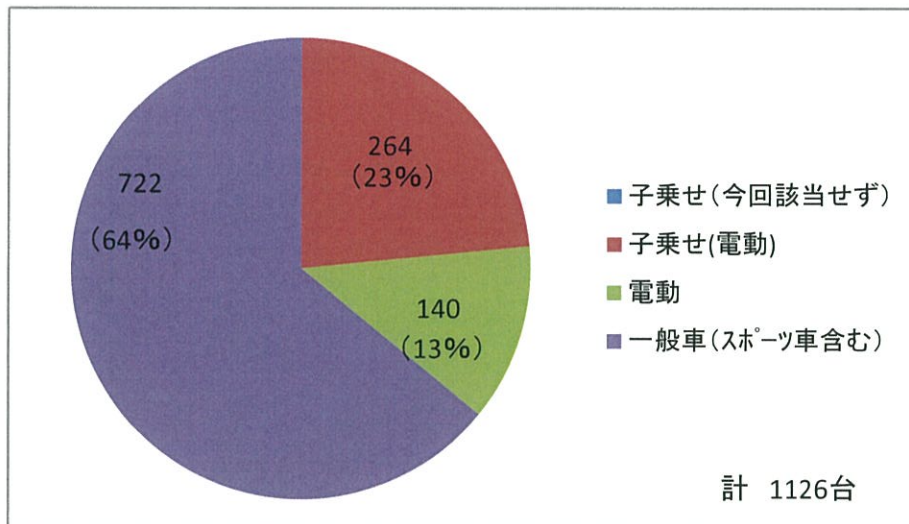
今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計7人)に対し、合羽着用者(計10人)で約1.5倍であった。

調査期間は、2日間であった。



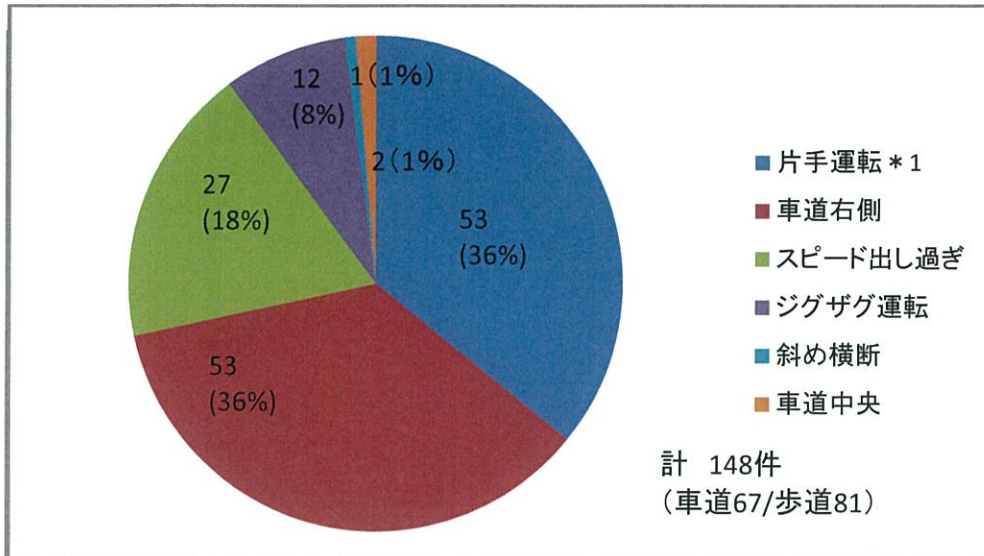
走行空間

調査期間 7/5~28



車種

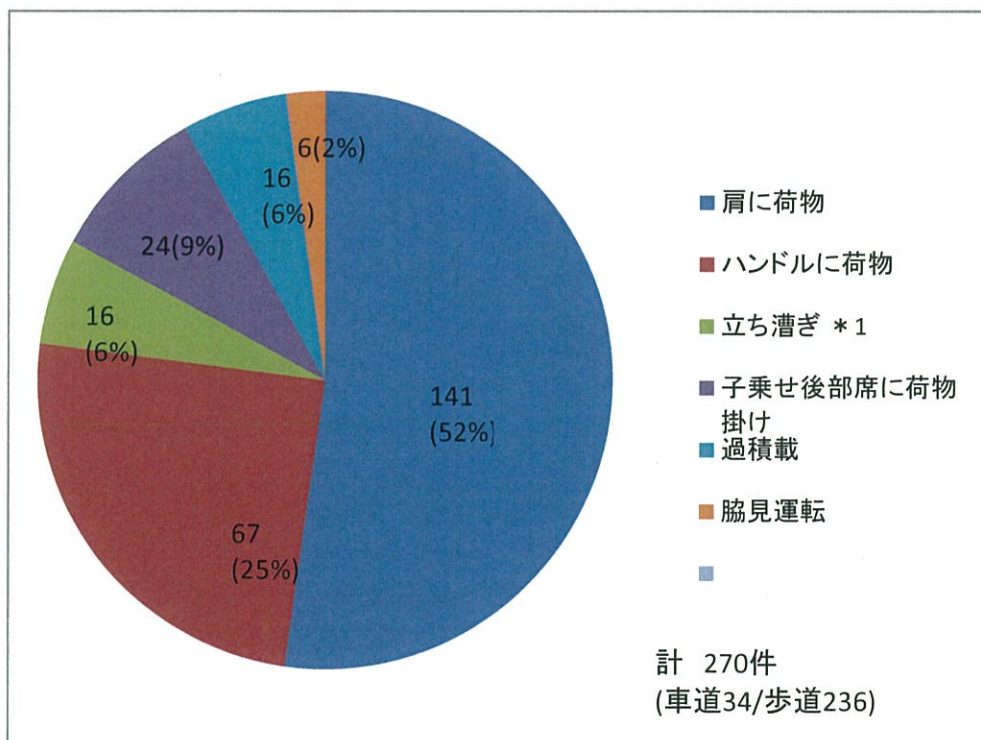
調査期間 7/5~28



違反運転行為

調査期間 7/5~28

\*1 内6件 携帯電話を使用中の運転

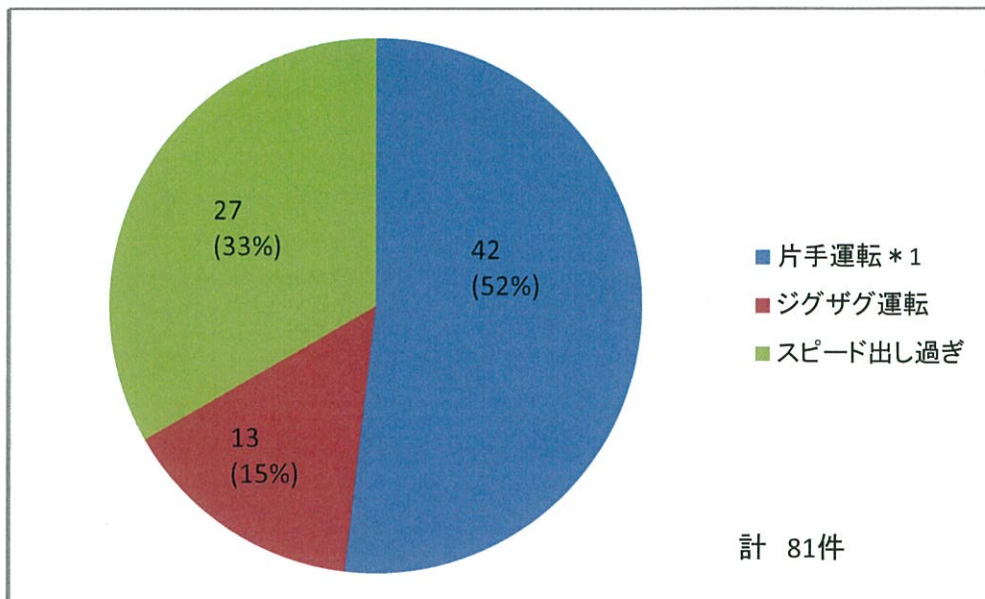


危険運転行為

調査期間 7/5~28

\*1 比率内訳: 上り坂14・下り坂2

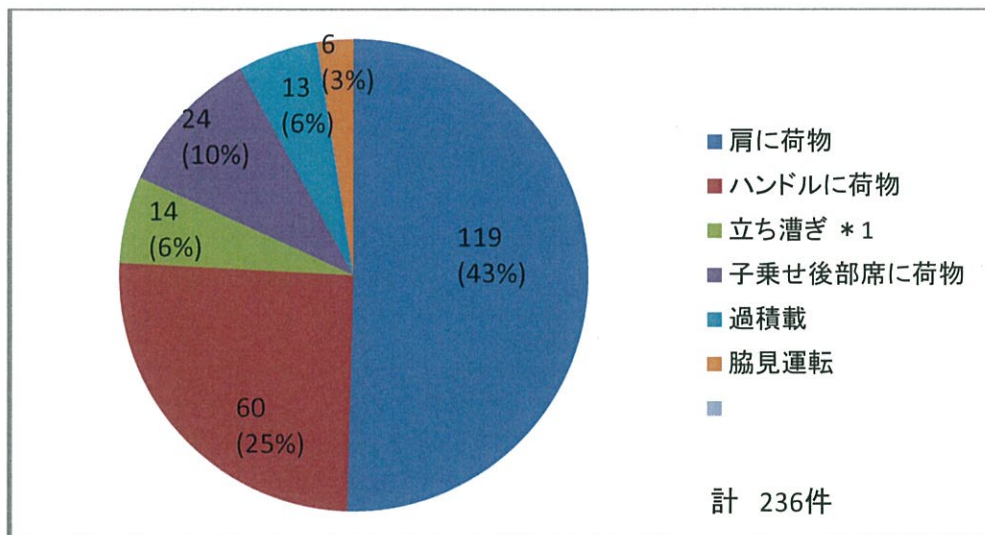




違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 7/5~28

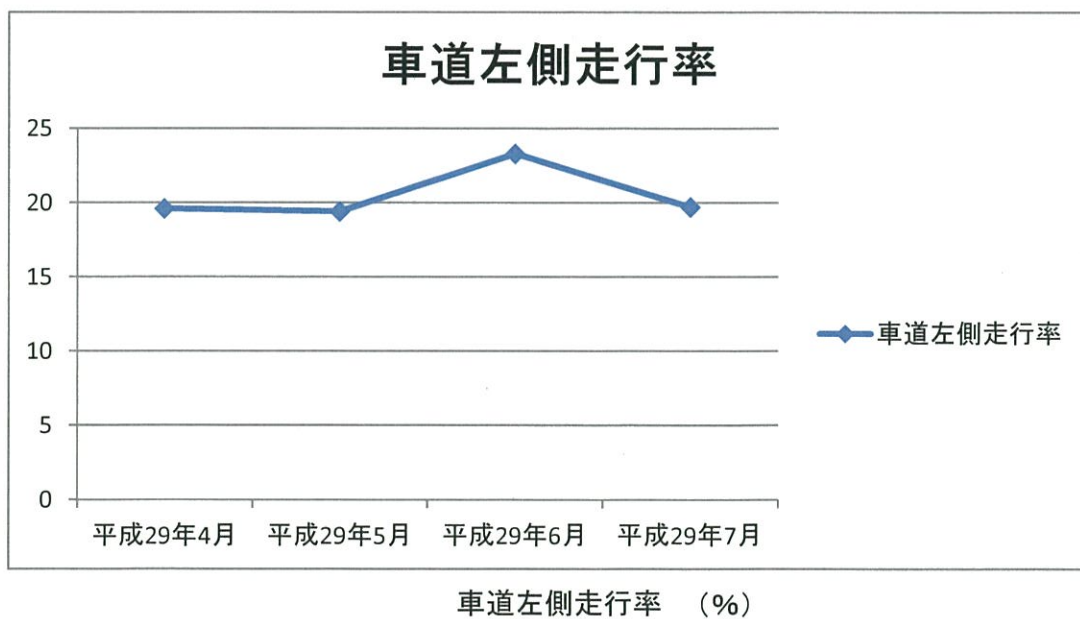
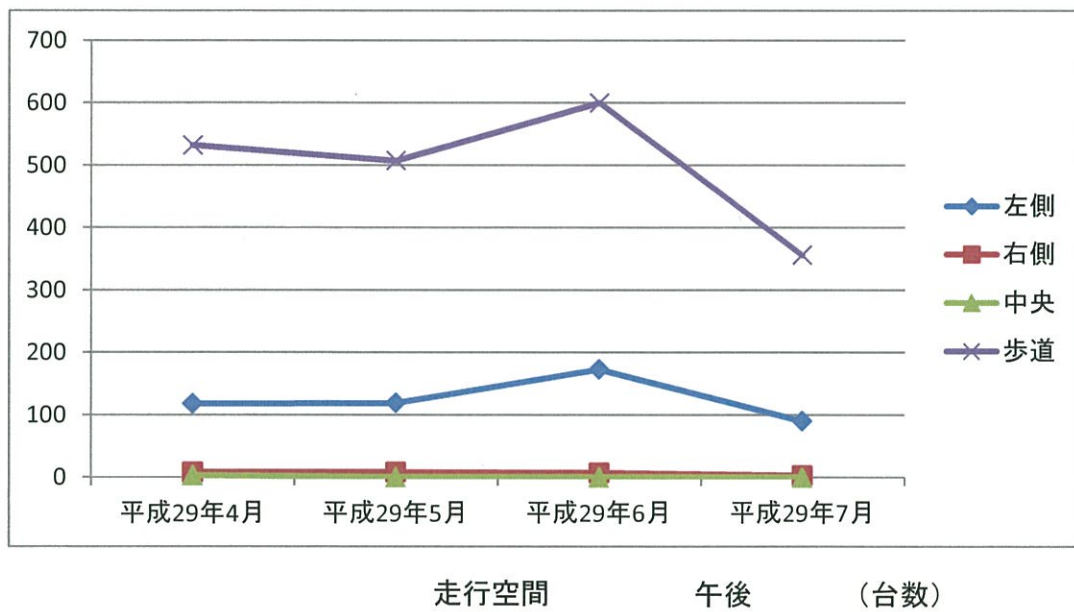
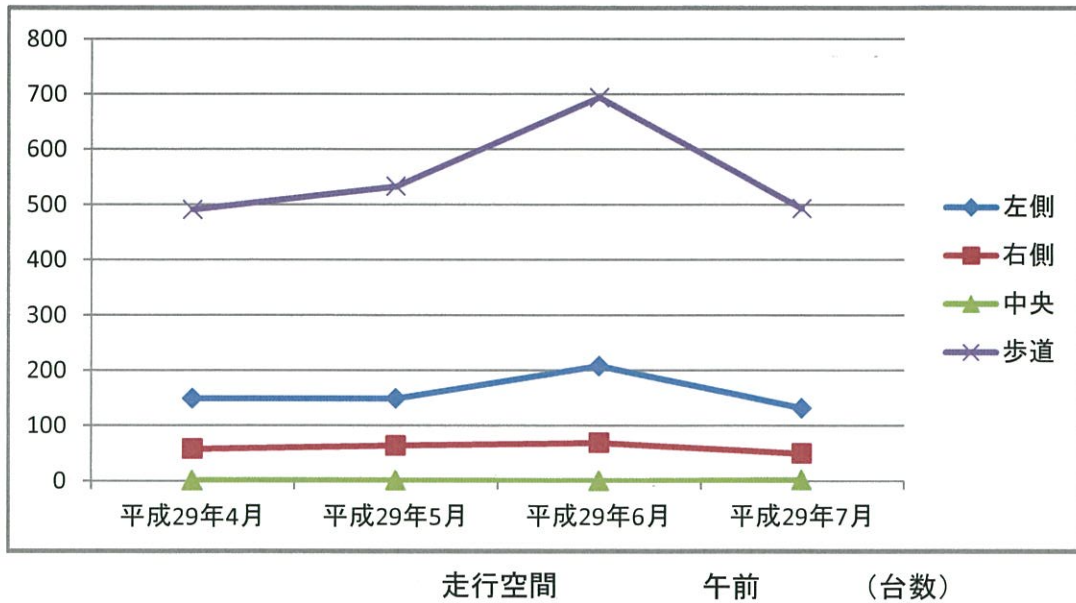
\* 1 内3件 携帯電話を使用中の運転



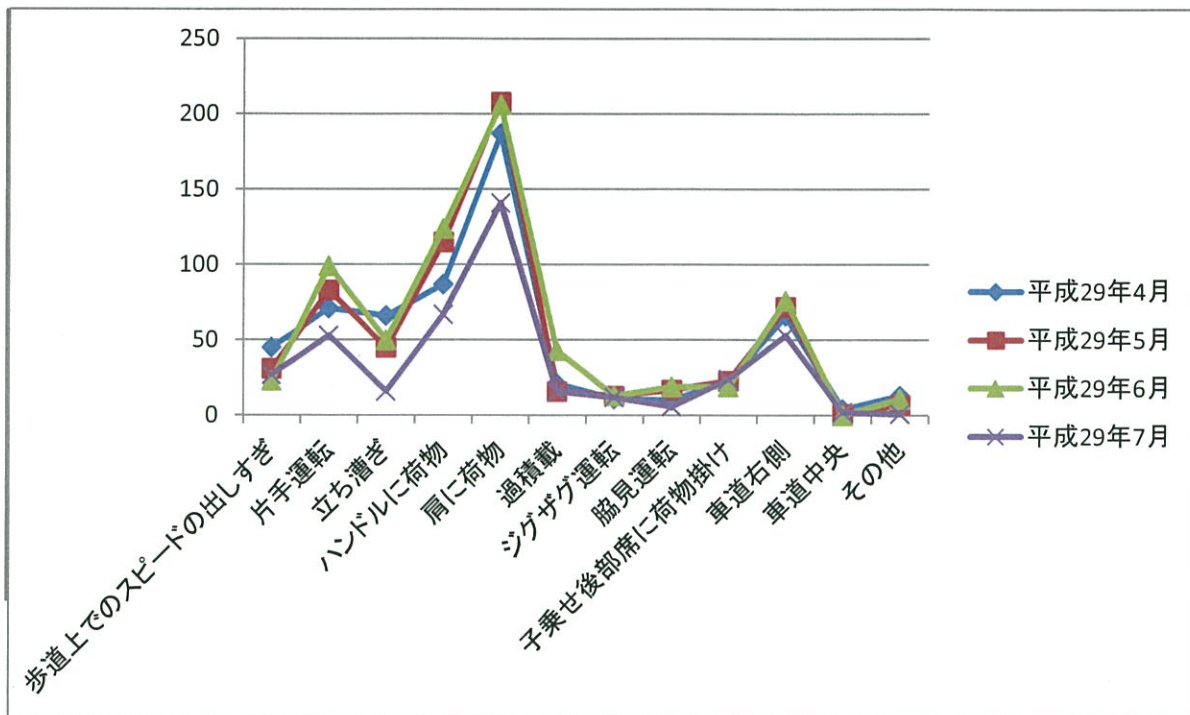
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 7/5~28

\* 1 比率内訳: 上り坂12・下り坂2







危険運転行為 (件)

## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成29年8月

（一財）日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成29年7月27日  
[午前]9:00～10:00/ [午後]14:00～15:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点（首都高速目黒線直下）から70m程の上り坂）

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← } }	対象外 対象エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道	↑	
	白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査結果

No.	走行空間		車種	乗客	危険運転行為			
	車道	歩道			違反	危険	その他	不明
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

調査日時:	年月日	時刻
天気:	気温	
調査時間:	分	秒

<調査票>

[コメント]

- ◎走行空間においては、車道左側走行率は、16%であり、また、車道中央走行率は、15%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の約7割を占めている。
- ◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(19件)・肩に荷物(16件)・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ(各6件)・過積載(3件)・携帯電話を使用しながらの運転(2件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の7/28)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(16.1%)は、前回(15.3%)と同様の水準である。  
 なお、午前(20.9%)は、前回(11.8%)の1.8倍の水準である。  
 また、午後(5.3%)は、前回(23.3%)の2割の水準である。

なお、午前の上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・21%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・19%)の 1.1 倍の水準である。

また、午後の上り地点 (5%)に対し、下り地点 (19%)の 3 割の水準である。

#### ・子乗せ自転車

今回(19%)は、前回(19%)と同等水準

上り地点(19%)に対し、下り地点(23%)の 8 割の水準

なお、同自転車における同乗者あり(50%)の場合でのヘルメット着用率は、92%である。

今回(92%)は、前回(100%)の 9 割の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(92%)に対し、下り地点(60%)の 1.5 倍の水準

#### ・電動自転車

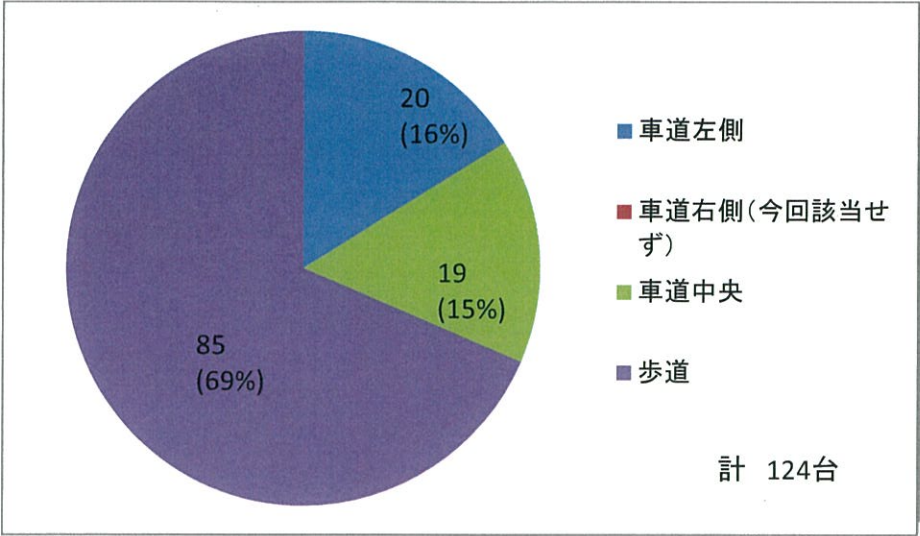
今回(34%)は、前回(34%)と同等の水準である。

上り地点(34%)に対し、下り地点(37%)の 9 割の水準

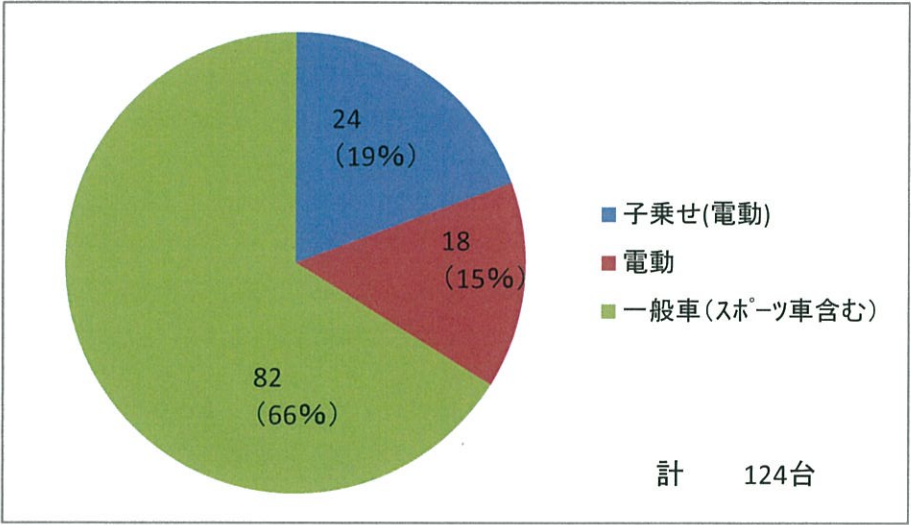
・危険運転行為  
(違反行為を含む)                      上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・ハンドルに荷物] に対し、下り地点では [肩に荷物・ハンドルに荷物・車道右側走行] であり、共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の 2 件となっている。

なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

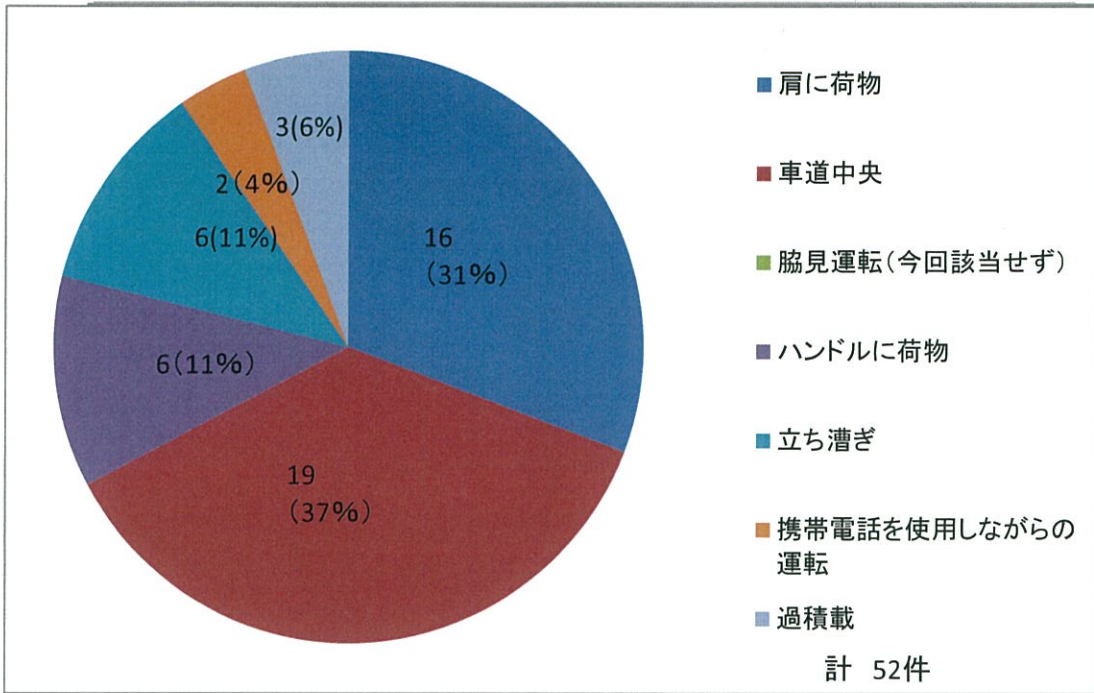
さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。



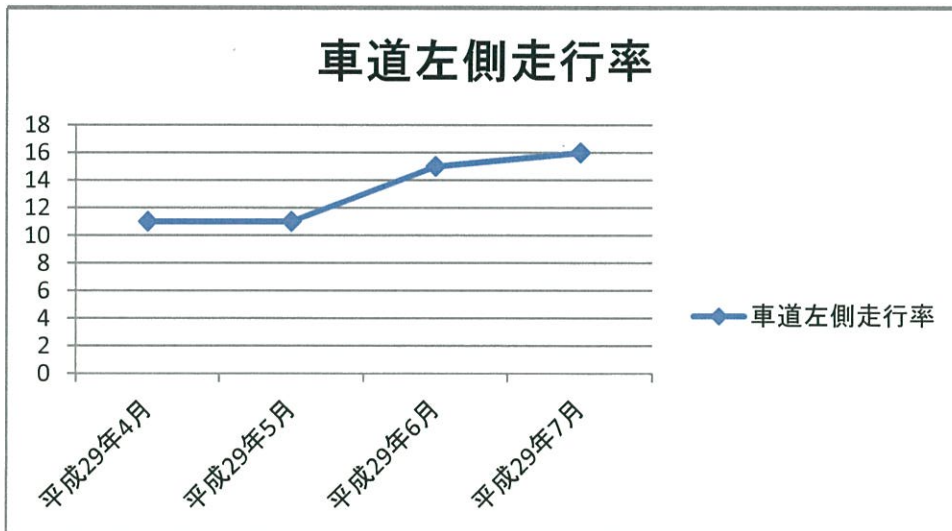
走行空間



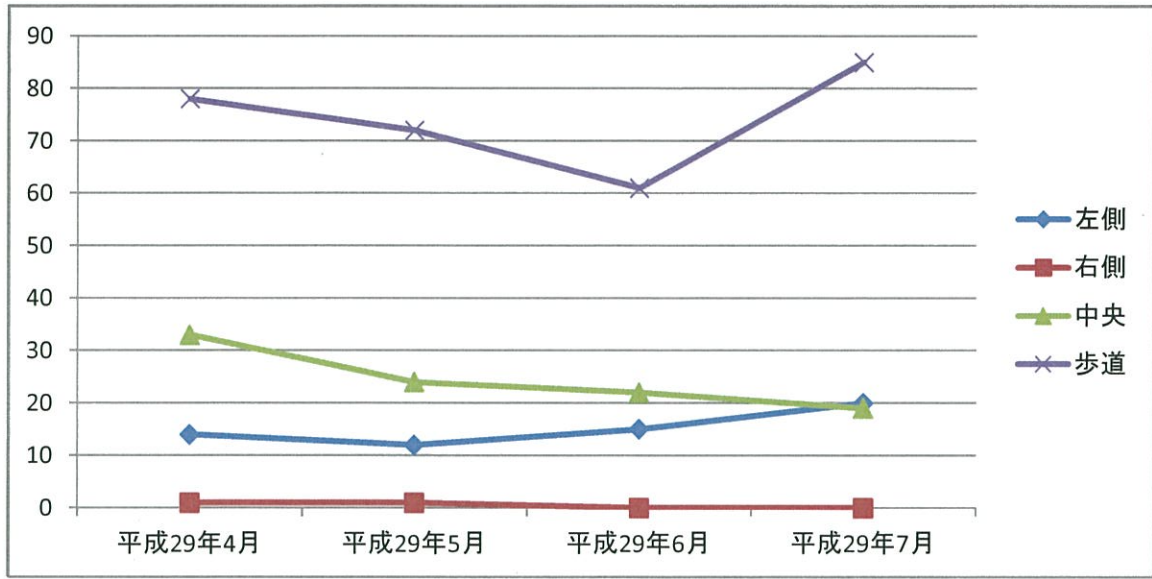
車種



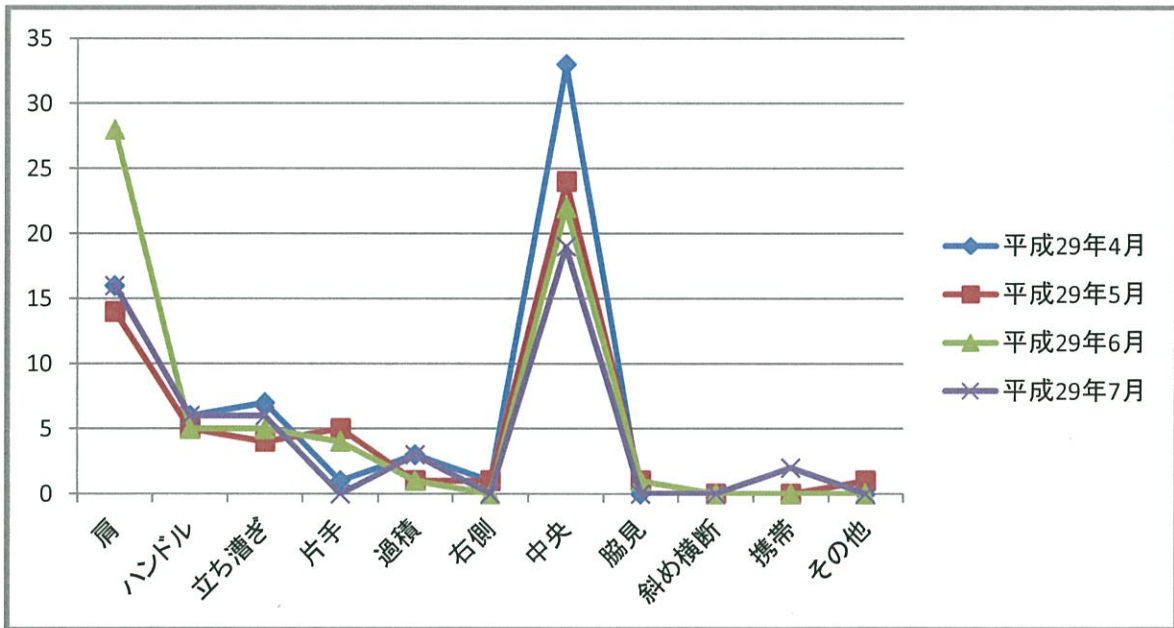
危険運転行為 (違反行為を含む)







走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)